



東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

12月号 寒さも楽しく!

福玉、便り

2013年12月4日(水)発行

ふく たま だ よ り

通巻 第19号

発行『福玉、便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・生活協同組合コープみらい埼玉県本部

編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉 メール:fukutama@431279.com

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部

あつまれ東北人!

福玉サロン

12月17日(火)11:30~14:00

会場:さいたま市片柳コミュニティセンター

(〒337-0026 さいたま市見沼区染谷3-147-1)

⇒<http://www.sainoko.net/asobouyo/jimusyo-chizu.pdf>

①いかにんじん

今回は、お弁当ですが、冬の福島といえば...
ご存知いかにんじんですよね。特製いかにんじん、お楽しみに!



②クリスマスリース&ポチ袋作り

あなただけのオリジナルリースと、水引を使った、かわいいポチ袋を作ります。男性の方も、お子様連れの方も、ぜひぜひ一緒につくりましょう!



③みんなで歌おう!

主催:一社)埼玉労福協 共催:浪江町復興支援員埼玉事務所
*12/10(火)までに、申し込みください。080-5749-2996(支援員・佐藤)

今年も!みんなで、年越し!

寄り添いステーション(加須市)

今年も、年越し餅つき大新年会を行います。
県外避難の人と、地元の人と、今回はいわきからも福玉バスを運用していただけます。(参加費無料)



12月31日(火)

午前11時~ 年越し餅つき交流会

午後2時~ 「双葉にこにこ合笑団」と歌う会

午後6時~ 紅白歌合戦を見ながら「年越しそば交流会」

1月1日(水)

午前10時から「お雑煮お正月交流会」

午前11時から「福袋プレゼント」撮影会

*持ち込み企画 歓迎します。ご連絡ください。

主催:加須ふれあいセンター

代表 富沢トシ子 0480-31-9511

年末をみんなで!

シラコバト団地被災者の会ひまわり(上尾)、向原団地被災者の会(上尾)、鴻巣“想い”(鴻巣)のみなさんから合同で下記のご案内をいただきました。どの地域の方でも大歓迎のことです。ぜひお出かけください。

★点から線へ 今を生きるために…。

3拠点を結んでいこう!

日程・タイプに合わせて参加してみよう!

震災を機に繋がった私達。過去を振り返ってばかりいられない。避難者だからという言葉にとらわれずに、今は今を充実出来たらいいな…。そんな想いで、3拠点の年末年始の企画の連携を図りたいと思います。情報共有して、今後も連携を取り、役割分担し、大きな輪にしていきたいと思っております。

大人たちのお楽しみ…忘年会

12月7日(土)12:00~17:00

上尾シラコバト団地 第二集会所

飲食物は持ち寄りで。会費無料です。

駐車場ご利用の方は事前連絡ください。

主催:シラコバト団地被災者の会ひまわり

橋 080-3091-6215



家族で参加…クリスマス会

12月14日(土)17時~

鴻巣市市民センター2階集會

鴻巣市赤見台1-15-5

主催:鴻巣“想い”

篠原 090-3981-3258



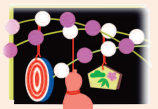
みんなで祝おう…新年会

~すてきな一年を過ごせるように

1月25日(土)12時~

上尾市向原団地集會室 上尾市上尾村向原1269-1

主催:向原団地被災者の会 富永090-5847-7089



詳しくはそれぞれの案内をご覧ください。事前のご確認・お申込・ご連絡も合わせて宜しくお願いします

コープみらいフェスタ2013 つなげよう笑顔ゾーンでの再会

11月2日・3日の2日間
さいたまスーパーアリーナ
で開催された「コープみら
いフェスタ2013」には、
2日間で12万人の方にご来
場いただきました。

復興支援を掲げたコープ
フェスタは今年で3年目。
県内外の団体の取り組みを
交流する「支援・情報交流
の場」となりました。
「つなげよう笑顔ゾーン」
では、今年、浪江町復興支援
員4名が分担して2日間の
対応にあたりました。浪江
町馬場町長や清水勇人さい
たま市長も立寄って戴き、
直接ご挨拶もできました。

「あなたは浪江なの？私
らは双葉よ……」とか、「郡
山から埼玉に嫁いできたん
ですよ」との挨拶が、新た
な「再会」の一步となること
をこのフェスタで確信しま
した。

会ができたことです。2年
7カ月も経ってからのいく
つかの「再会」をして、まだ
「再会」できない多くの避難
者があることを改めて受止
めました。

「つなげよう笑顔ゾーン」
では、今年、浪江町復興支援
員4名が分担して2日間の
対応にあたりました。浪江
町馬場町長や清水勇人さい
たま市長も立寄って戴き、
直接ご挨拶もできました。

■県内避難者支援団体か
らの参加 さいがいつなが
りカフェ（相双地区写真展&
活動紹介）／つながりカフェ
（新座市）&えがお（富士見
市）（東松島物産販売）／相
双ふるさとネットワーク（な
みえ焼きそば）／一步会（県
内での活動紹介）／双葉町か
ら避難している方々（県内で
生産した農産物販売）／労福
協（福玉交流サロン紹介）



「わくわく人形劇とクリスマスのつどい」に参加しませんか

人形劇を観たり、手づくり人形で遊んだり、ゲームをしたり、ドキドキわくわく楽しいクリスマス会です。たくさん子どもたちの参加をお待ちしています。1月以降は、子どもたちによる人形劇団を結成予定です。こちらに興味をお持ちの方もぜひご参加ください。

日時：12月22日(日) 場所：早稲田大学所沢キャンパス（埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15 小手指駅から徒歩無料バスあり・駐車場あり）

対象：小学生とそのご家族（避難者でなくても参加できます）
参加費：無料 問い合わせ先：早稲田大学かささぎプロジェクト実行委員会
受付：白石 メールkasasagi.project@gmail.com 電話090-5473-4346
詳細未定のため、参加希望の方は上記までお問い合わせください。
個別にご連絡させていただきます。



かぞびばでヤキモチタイム！
11月16日、加須市騎西中央公園にて、
月二回、遊び場を開催している「かぞび
ば」（主催・埼玉冒險遊び場づくり連絡
会）と、旧騎西高校内で開催してきた
「あそびのひろば」とのコラボレーショ
ンで「おとうさんのヤキモチタイム」を
開催。超あま
まのヤキモチ食
べながらひたす
ら遊びました。
参加者75名。



浦和で柿取り会

去る11月16日、さいたま
市に住む渡部成恵さんから
「実家の庭の柿取りをしませ
んか」とお誘いいただき、近辺
に避難中の方々にもお声をか
け参加してきました。



た「柿は嫌いなくせ
に、また柿を取りた
いと息子が言っ
ます」「腕を挙げ続
ける作業は日常生活
にないの、腕が少々た
びれたが楽しかった」などの感
想をいただきました。「大変な
作業」だからこそたくさんの人
手でやると楽しいものです。

市内にある渡部さんのご実
家は古くから製菓業を営んで
いましたが今は廃業。そのお庭
には大きな蔵と5本の柿の木
があり、当日は小春日和で、高
い青空に柿色が鮮やかに輝い
ていました。近所の学童保育所
の子どもたちや近隣の方など
が、高枝切りばさみや脚立、ビ
ニール袋を持ち寄り集まりま
した。

昭和初期に「孫たちにたくさ
ん食べさせたい」と柿の木を植
えたのは、渡部さんのひいおじ
いさま。以前は、お得意さんや
ご近所の方に柿を配っていた
そうですが、家業を廃業されて
からは、食べきれず、困ってい
たという家主さん。「皆さんに
喜んでいただいて、人をもてな
すことが大好きだった父や夫
も空の高みから喜んでいてる
と思います」。

初めて柿取りに挑戦する子
はベテランのおじさんに扱い
方を教わったり、高い所に登っ
て切り取った実を足下で待ち
構えて籠でキャッチしたり、柿
にまつわるクイズ（豪華賞品付
き）があったり、子どもも大
人もとても楽しい時間になり
ました。

大きなイベントの開催も元
気が出ますが地域（で見過さ
れていた）資源を活用した小さ
な交流が各地でひろがればい
いな、と思いました。（福玉便り
編集部・谷居
さん）



「猿力ニ合戦のサルになった
気分です屋根
の上で柿を
食べた。久
しぶりに季
節を感じ

大きなイベントの開催も元
気が出ますが地域（で見過さ
れていた）資源を活用した小さ
な交流が各地でひろがればい
いな、と思いました。（福玉便り
編集部・谷居
さん）

「富岡町の災害公営住宅を埼玉県杉戸町に建設するため、「埼玉の協力体制」を構築しよう！」

前月号で「長期化する避難生活を支えるには「住環境の改善」が必要」との記事を掲載し、様々なご意見を戴きました。

今号では、富岡町9月定例議会にて「災害公営住宅建設」について議論されていますのでその内容について報告します。

遠藤一善議員から「避難所を設置した杉戸町に町営の災害公営住宅整備を進めるべきでは」と質問された町長は、「杉戸町で協力したいとの意向もあり、住民意向調査の結果を踏まえ、国および県と検討します。町単独での建設が難しい場合は、避難している近隣町村にも働きかけ、できる限り対応できるように進めます。」と答弁しました。

また、遠藤議員から「災害公営住宅整備を加速するために、町外での災害公営住宅建設も町営で進めるべきでは」との質問に対して、町長は「本町と大玉村で協定を締結し、大玉村応急仮設住宅敷地内に、大玉村営の公営住宅建設を進め、三春町の災害公営住宅は県営での建設を進めています。」と回答し、多様な方式で住宅整備をすすめることができることを明らかにしました。

大玉村も三春町も福島県内であり、埼玉県杉戸町に災害公営住宅を建設するまでには紆余曲折が予想されますが、「埼玉県内に避難して

いる富岡町民や他の町村の住民の意向（自主）調査を実施し、「埼玉県内に災害公営住宅を建設する道筋」を開くような取り組みが必要です。

「災害公営住宅」は、「集合住宅」と「一戸建て」のどちらにするのか？併設するののかという課題や本当に何世帯が入居するののかという不安もあります。また、実際に入居したとしても「家賃」や最終的な譲渡価格の問題なども出てきます。

しかし、本年8月に実施された富岡町住民意向調査によれば、町民の46.2%が「現時点で戻らないと決めている」と回答し、30歳代の町民で見ると60.4%が「戻らないと決めている」としています。埼玉県をはじめ首都圏に避難している富岡町民は2,000人を超えていると思われませんが、これら首都圏避難者の受け皿としても「杉戸町での災害公営住宅」は有意義であるし、富岡町以外の避難者（自主避難も含めて）の受け皿としても必要だと思えます。

年が明ければ、すぐに「発災」3周年となります。夜、安心して眠れる部屋、家族が団欒できる部屋：そんな住環境の整備、併せて住民の意向に沿った災害公営住宅の建設を求める声を結集しましょう。

文責 永田信雄（埼玉労働協）
※文中の富岡町議会の質疑応答は、「とみおか議会だより176号20ページ」からの転載です

「埼玉バス乗り」

富岡町で「はんこ屋」を営んでいる遠藤さんにバスの中でお話しをうかがいました。遠藤さんは、商工会の副会長さんでもありました。最初にお会いした印象はただの「飲兵衛じいさん」という感じで明るく陽気な方でした。その遠藤さんが「発災から2年8カ月……今の状態をいつまでも続ける訳にはいかない」と一念発起し、家族会議を招集したそうです。

議題は、今後の生活拠点をどうするか？でした。実は遠藤さんは、その場で「埼玉で住宅を購入して住む」ことを確認するつもりでした。

ところが、お母さんは「長男が住むいわき市へ行きたい」といい、奥さんは「お母さんといわき市に行きます」と同調、頼りの息子さんからも「いわき市に行きたい」と言われ、本人いわく「3対1でいわき市への転居を決議」されることになってしまいました。

いわき市での新居が決まると、これまで体調不良でふせりがちだった母親が、新居の草取りができるほど健康状態が良くなったそうです。

遠藤さんは、「母親の元気な姿を見ると（いわき市への）移転の決断をして）良かったのかなあ……」と複雑な気分なのだそうです。

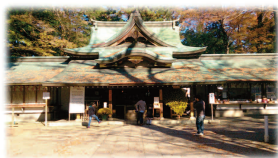
遠藤さん自身は「仕事の関係があるから来年の5月までは埼玉でお世話になります」と言います。短い間でしたが、埼玉での生活ありがとうございました。

（編集部・永田）

2014年午の年、初詣行くなら常総市の「一言主神社」へ

一言主神社

毎年7月の第4週に、「相双地域」の人々の心を揺き立てる「野馬追」が開催されます。



その要となる中村神社、相馬中村藩は平将門の後裔であることを知らない人はいないと思います。

その平将門が勇躍した旧守谷町（常総市）に建立され、平将門をはじめ下総相馬氏・常陸相馬氏が信仰したのが「一言主（ひとことぬし）神社」と言われています。

古事記・日本書紀によれば、「一言主」は、別名を事代主神と言い「大国主神の

長子」とであると言われています。一言主神は、「一言の願いでも疎かにせず叶えてくれる神」であり、また「言行一致の神」として、崇められ畏れられていたといえます。

平将門が一言主神社を詣でていたのかどうかは分かりませんが、この地が平将門の領内であり、一言主神社から2キロメートルほど離れたところには「平将門の胴塚」がある延命院（坂東市神田山）もあります。



筆者（永田）は、「将門記」と出会って以降、初詣は一言主神社と延

命院と決めて

ています。

この神社が遠く相馬中村藩につながり、「野馬追」の歴史と伝統に繋がっていると考えられることのできるのではないのでしょうか。相双への思いを込めて、今年は茨城県常総市の一言主神社で初詣をしませんか？

ちなみに、一言主神社は、写真のようにあまり大きな神社ではありません。元日から5日くらい迄は、関東一円から訪れる参拝客の車で神社周辺は大渋滞となります。住所=茨城県常総市大塚戸町875 電話=0297(27)0659



埼玉(付近)ワンコインの旅

ここカフェ×マママネット 長瀬バスツアー

11月14日(木)秋晴れのなか、長瀬ライン下りの日帰りバス旅行が開催されました。(すぐ定員になつてしまったので、大々的に告知できず、すみません……)

大人より子どもの数の多い、賑やかなバスの中。元保育士の高岡瑠美さん(いわき市)によるストレッチ、手遊び歌、自己紹介ゲームで盛り上がりました。秋の紅葉の中のライン下り、BBQ、公園散策など、大人も子どもも笑顔いっぱいの日でした。また、何かの機会に企画したいと思っています。



アン ケート を書いて ください。 さった 皆さんの 声を ご紹介 します。 「毎日のようにテレビで目にする放射能の問題。」

が経つと埼玉での生活に慣れてきましたが、ふと思いで出します。今日もバスから見える山々を見て思いました。このような避難者の集いに参加して、思いや情報の共有を、これからも続けていきたい(いわき市・鈴木きょう子さん)

「人とかかわりがあるというのとはとても助かる。少しでも心の休まる時間、ほっとする時間があるのは、とてもいい事。(南相馬市・匿名希望)」

「みんながバスの中で、テレビや手遊びができて楽しかったです。長瀬ライン下りをして水に少しぬれましたー。さーこの思い出になりました。今度は他の県にも行ってみたいですね(鈴木美海さん小学生)」「嫌なことはすべて忘れまます。上を向いて歩きます(岩手県・山口英治さん)」

福島県民として一刻も早く解決してほしいと思っています。これから社会人になる1人として、福島県民としての誇りをもつて頑張りたいと考えています(郡山市出身・お手伝いで参加してくれた大学生)

「埼玉に来てクルマに乗れない私にとってバスツアーはうれしい企画でした。時は過ぎて子供はどんどん成長していきますが、今後どうすればいいのか先が見えず不安と今の生活に慣れていく自分にどうすればいいかわからなくなる時があります。屋外での企画がもっと身近になれば、と思います(浪江町・匿名希望)」

「たくさんの方々の温かい支援があつての2年8ヶ月でした。一方で、福島には戻れない状況で、借上住宅にいつまで住まわられるのかとても不安です(三春町・匿名希望)」

「実際に話を聞いて避難生活が大変であることを知り、少しでも力になれば、と思いました(埼玉県・お手伝いで参加してくれた大学生)」

「埼玉県内をいろいろ知れる企画があつたらいいですね(南相馬市・匿名希望)」

「子どもたちが安心して(親の不安な気持ちを感じ取らず)生活できるように願っています。私たちが思っていただけ感謝していただきます。平日の休み、親子共々、楽しく過ごしました(福島市・匿名希望)」

「バスの中『ママちゃんママ』のストレッチなど、すごくおもしろい。まだまだ先が見えませんが、自分ができることを着実にやっています(東京都・柄本三代子さん)」



福島県精神保健福祉協会ふくしま心のケアセンター 加須市駐在

田中康子さん(臨床心理士)
渡邊正道さん(精神保健福祉士)

24年2月から双葉町役場埼玉支所(加須市)に着任しました。加須市駐在は、着任後1年間は旧騎西高校の避難所内で双葉町と連携を取りながら避難先宅を訪問させて頂き、町民の皆さんの様子を見てきました。現在は、埼玉県に避難している福島県民の方を対象に、町の保健師や社協の職員を通じて関わりを持たせて頂き、必要に応じて、安心・安全な生活が過ごせるよう一緒に考えたり、その時に使えるサービスを紹介したりする活動をしています。「心のケア」や「相談」と言うと堅苦しい、難しいと思われるが、皆さんに「分かりやすい」で、皆さんに「分かりやすい」楽しく、を目標に、健康を維持する(予防ケアアップ)活動を行っています。

避難により生活環境が変わると、震災前には日々やっていたことが出来なくなったりして、健康的な時間が過ぎない時もあったかと思えます。そうした時には支援が必要であり、時には見守ることが大切なこともあります。回復力や生活を妨げないように、自身で取り組む機会を奪う(やっとなげ)ではなく『出来る部分は、本人が前向きな気持ちで取り組んで頂けるように』と心がけて日々関わらせて頂いています。

ストレスは身体と心の健康に大きく影響を与えます。自分でも知らず知らずのうちに精神的に余裕がなくなってしまうこともありまます。そうした時には自分で出来る気分転換を心掛けてみて下さい。なかなか自分では難しいという時には、お気軽に『ふくこミニライン』にご相談下さい。



活動の内容としては、参加された方の希望に沿った

浅草・隅田川を巡るバスツアー

11月16日(土)、熊谷のふるさと交流サロン2周年記念事業として、日帰りバスツアーを開催しました。当日は小春日和に恵まれ、交通渋滞にも巻き込まれず参加者37名(スタッフ含む)が東京めぐり三大スポットをたつぷり楽しめました。バス中も参加者同士和気あいあいと会話が弾み笑顔が溢れていました。今回初参加の菊地さん(二本松市から避難)から感想をお寄せいただきましたので、ご紹介しします。(ふるさと交流サロン実行委員会 駒宮)



今回初めて、ふるさと交流サロンに参加させて頂きました。熊谷に自主避難をしてから、仕事や子供たちの行事などで、忙しい日々を追われ、参加できませんでした。

今回は『東京三大スポット巡り』皇居、隅田川、浅草：お昼は有明ワシントンホテルでバイキングととても美味しかったです。

浅草観光では、浅草寺で行われていたイベントで、沢山のメダリストや芸人さんを見ることができました。花月堂で抹茶と甘味を食しながら休憩していると、楽しんでさんが店に入

つてきて、隣の席に座ったので、お話することもできました。また、参加された皆様とも色々なお話ができ、福島弁を久しぶりに耳にして、嬉しくなりました。親子共々、楽しい時間を過ごさせて頂き、ありがとうございました。また参加させて頂きたいと思います。

菊地香織

防災・減災を考える

～NPO川越子育てネットワーク×避難ママの座談会～

11月22日、川越市内の公民館で、防災・減災を考える座談会が開催されました。参加してくださったのは、震災を経験し、いまま避難生活を続けている子育て中のママ3人。実体験に基づく防災・減災の知恵をお話してくださいました。聞き手は、NPO法人川越子育てネットワークの本田さん、崎さん。かねてから「震災で避難してこられた親子に、何かできないだろうか」と考え、「こえま

まサロン」という川越に引っ越してきたママのための交流会も開催しています。今回の「防災・減災を考える」座談会の様子は、来年度に川越市と協働で発行する子育て情報誌『こえどちゃん』の中で掲載されます。また、同ページで、川

越市の被災者交流会と福玉便利について紹介して下さるそうです。「被災して実感した、備えるべきもの」「子どもをどう守るか」など、震災直後の体験を交えた貴重なお話を、こちらにも一部掲載させていただきます。

【被災して実感した、備えるべきもの】
・ガソリン(必須。半分になったら入れる習慣を)
・カーナビ(道路が閉鎖されるので、抜け道が分かることが大切)

・水(お風呂の水は夕方まで抜かない習慣を)／ペットボトルに汲んでおく
・ウエットティッシュ(手や食器だけではなく、歯や身体もふける)
・ラップ(食器に)
・オムツ／生理用品
・携帯の充電機
・ゴミ袋
・割り箸
・カセットコンロ／ボンベ(3日に1本なくなる)
・シガーソケットコンセント
(クルマから電源をとる)

【被災して実感した注意点と、生活の知恵】
・誰がどこにいるのかを把握しておく
・集合場所を決めておく
・何日か他の土地(場所)へ移動するか、をあらかじめ決めておく、その日数分の準備を
・ベッドサイドに靴かスリッパ
・トイレトペーパー、小は流さないで「ゴミ袋へ」
・ゴミの収集がなくなるので、「ゴミを極力出さない」
・ごはんを食べて、お茶で茶碗をゆすいで飲む
・カレーやシチューは紙皿で食べて捨てる
・カップラーメンはのどが渇く
・水が汲めそうな場所を探しておく
・乾物料理を覚えておく
・ガスが使えない場合、電気が使えない場合など、それぞれ考えておく
・最悪を想定して動く
・3日間ほどのげる準備があれば、パニックにはならない。

【子どもたちへの思い】
・学校を2～3日休ませることを躊躇しない
・子どもは子どもで抱えているものが違うから、気をつけてみてあげたい
・「辛い経験でも、『社会にもまれた／子どものうちにいい経験をした』と思うようにする。苦労はさせられるけど、選択肢は増えた」と思うようにしている。

「これは乗り越えたことがあるから大丈夫」という成功体験をさせたい。鍵を閉める習慣がない、というお話にもなりまして、小さい頃から福島県でのびのび育ってきたママたち。

「うちの子は、私より先に鍵を閉めるという習慣を覚えて、『ちゃんとかけて』と注意されちゃった」と話してくださいました。今回参加してくださいました3人のママ以外にも、企画の呼び掛けに応じて、記事をメールで送ってくださいました。ご協力くださりありがとうございました。(ここカフェ @川越／編集部・伊藤)

「被災して実感した、備えるべきもの」

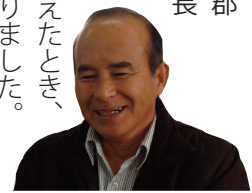
「被災して実感した注意点と、生活の知恵」



宿命を、使命にかえて

郡山市緑ヶ丘・富岡町仮設住宅 北崎一六さん

約169世帯が避難生活を送られている郡山市緑ヶ丘の富岡町仮設住宅の自治会長 北崎一六さんにお話を伺いました。



● 埼玉に住むか……
震災直後の3月17日、妹の住む埼玉県の東松山市に向かいました。その後、市の福祉センターで避難生活をしていたのですが、社会福祉協議会から仕事までいただき、妻と父の3人で埼玉での暮らしを始めました。埼玉で住む覚悟もできていました。東松山の方々はとても親切で、いわきナンバーの私たちの車を見ると、信号待ちしていても「頑張つてね」と声をかけてくれたり、スーパーでも「何か困っていることがあったら声かけてね」とか言つて下さり、その一言は、涙が出るほど嬉しくて……。ところが6月頃、父がやはり福島に戻り、この仮設に住むことになりました。やがて、この仮設住宅の住民

● ふるさとを思う力

自治会長になりました。が100世帯を超えたとき、会長としての仕事は、住民の方々の状況を少しでも知って、問題を掴み、皆で協力しながらその問題解決をしていくことだと思っています。そのため、朝のラジオ体操からはじまって、月6回のサロンや体操教室、新年会などイベントを開催しています。富岡町の方は年中行事を大事にしています。田植えが終わると柏餅を作つて実家に帰ると「元氣祭り」があり、秋の収穫後の「芋煮会」、年末には「えびすこ市」……これは12月に行われる正月準備のためのもので、富岡町民は、皆、楽しみにしていたものなのです。ですからここでのイベントもそんな季節感を大切にしながら、ふるさとを思う力を大切にしています。

す。これからの支援についてある方は「もう物ではない……」という方もいます。でも、実際の仮設の方々を観察していると、高齢の方の中には、泣いて喜んでいられるのです。それはものに感動しているのではなく、未だに気にかけてくれている事に涙しているのです。現象だけで物事を見ていると、判断を間違つてしまうことがあるなと思います。その裏側に何かがあるかをよく見ることが、大事なのではないのでしょうか。

● 宿命を使命に変えて

仮設住宅での暮らしが長引くと、狭い住宅環境とともに先が見えなく情報が少ない不安で体調を崩す方が増えています。一人ひとりの状況がわかってくると課題が沢山見えてきます。今の私の目標は、この仮設の方々が、ここから巣立つて自立する最後の一人を見送るまで、いただいた使命を全うしようということなのです。万が一自治会長を辞めた

としても、です。自分も含めて福島の人々が背負った宿命を、使命に変えて生き抜こうと……。これからの自分の人生を、一人でも多くの方が、楽しく暮らしていける場を創るために……と思っています。まもなく震災から3年が経とうとしています。国や東電、震災を恨むか、郡山のこの仮設住宅でこんな人たちに会えた、自分の目の前にいる人に対して何か喜ばせることないか、と考えるか……。後者を選ぶほうが、自分が幸せになれる気がするのです。お金や物だけでなく、何か楽しめることを探すこと。悩みを糧に生き抜くこと、孤独な人に友人を。悪い人はいない、つなげるのではなく、人は皆、つながっているのですよね。福島で起きたことに負けないで、生き抜いた体験を創つて、その体験をお世話になった全国の人にお話しできるまで、頑張つていきたい……。

恨むか糧にするか……神様は私たちにどちらでも選べる素晴らしい自由をくださった！私は後者を選択して生きていきたい……そう決めたのです。(コープみらい埼玉県本部／編集部・福岡)



町民からの相談役として

ありがとうございます！

本誌の印刷は、『富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部』(社員ボランティア)の皆様が全面的にご協力いただいております。

ありがとうございます！

「赤い羽根共同募金の災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(ボラサポ)の助成金をいただいて、発行しています。



みなさんお声を、お待ちしております。今、どうしていらつしやいますか？いろいろな思いを交換していける場になれば、と思つています。ぜひ編集部まで教えてください！

福玉便りのお届け作業と一緒にやったださる方、大募集

12月25日(水)13:30-16:00ごろ可能な時間で。場所:埼玉労福協

福玉便りの発送は、編集部の手も動かしませんが、口のほうが多く動いていると言われていました。もし、一緒に作業して下さる方がいらつしやいましたら、ご連絡おまちしています。労福協048-833-8731まで。



12月

2	3	4	5	6	7	8	9
■杉戸町 つつじの里サロン 13:30~15:30 杉戸住宅 6-301 毎週木曜★ 0480-31-0055 (つつじの里サロン事務局)		■杉戸町 指一本でもできるパソコン教室 10:00~12:00 JWAデイサービスすぎと 0480-31-0055(つつじの里サロン事務局) 月3回木曜★		■上尾市 シラコバト団地被災者の会 ひまわり忘年会 12:00~17:00 シラコバト団地第二集会所 048-607-6723 (団地自治会事務局) 080-3091-6215 (橘さん) 詳細は1ページ		■所沢市 青空あおぞらおしゃべり会 13:30~16:00 新所沢公民館 048-829-7400(SSN)	
■さいたま市 春日部 つながりカフェ 10:00~17:00 クリスマスッキング 12:00~ 食事 14:00~ 賠償問題座談会 ※お好きなときにお越しください コーププラザ 春日部クッキングルーム 048-829-7400 (SSN)		■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 048-601-3111		■鴻巣市 クリスマス会 17:00~20:00 鴻巣市市民センター 345shinohara@ezweb.ne.jp (篠原さん) 詳細は1ページ		■富士見市 お茶のみ交流会 世界遺産登録 富士山&山中湖&河口湖イナリ一日帰リバスツアー 049-251-2711 (富士見市安心安全課)	
■さいたま市 福玉座談会 10:00~17:00 ときわ会館 048-833-8731 (労福協)		■さいたま市 さいがい・つながりの会 東北復興支援販売 10:30~18:00 物産・観光情報センター ★★		■鳩山町 避難者懇親会(忘年会) 15:00~ 鳩山町コミュニティセンター1階研修室 090-2847-9745 (鈴木さん)		■上尾市 ふくたま子育てサロン 10:00~12:00 つどいの広場 あそぼうよ2階和室 048-770-5272(彩の子ネットワーク)	
■川口市 ひまわりの会 みんなで作って、食べて、年忘れ 10:00~ 南鳩ヶ谷やすらぎ会館 ★★ 080-5431-0123 (島田さん)		■鳩山町 鳩の集いクリスマス会 10:00~12:00 JAXA鳩山宿舎108号室 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)		■加須市 かぞびば プレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)		■羽生市 羽生つながりカフェ 10:00~15:00 パープル羽生 048-601-3111 (With You さいたま)	
■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 048-601-3111		■加須市 クリスマス会 12:00~14:00 寄り添いステーション騎西 090-1650-2874 (富沢さん) ★		■さいたま市 福玉・謡曲の会 10:30~12:00 With You さいたま4階 和室 080-5532-7380 (薄井さん)		■ふじみ野市 おあがんなんしよ クリスマス会&忘年会 13:30~ フクトピア 090-5345-8408 (松館さん)	



こちらのサイトにも情報があります。
http://431279.com
(SSN: 震災支援ネットワーク埼玉)

福玉・便り
お送りします。

ご希望の方には、本紙を郵送でお送りします。

『福玉・便り』編集委員会
連絡先：(一社) 埼玉労働者福祉協議会
電話 048-833-8731
メール：fukutama@431279.com

月	火	水	木	金	土	日
30	31	1	2	3	4	5
■加須市 年越し餅つき大新年会 寄り添いステーション騎西 090-1650-2874 (富沢さん) 詳細は1ページ 31日 17:00~ 1日 10:00~13:00		■加須市 かぞびば プレーパーク 10:00~15:00 騎西中央公園 080-6721-6858 (谷居さん)		<h1>1月</h1>		
6	7	8	9	10	11	12
■草加市 つながりの会東北復興支援販売 10:30~18:00 物産・観光情報センター		■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 ★				
13	14	15	16	17	18	19
■川口市 ひまわりの会 ちょっと遅い初詣 (鳩ヶ谷氷川神社) 10:00~ 集合場所未定 080-5431-0123 (島田さん) ★★		■鳩山町 鳩の集い 10:00~12:00 JAXA鳩山宿舎108号室 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課)		■新座市 新座さいがい・つながりカフェ 手打ちうどん作り 13:00~16:00 栄公民館2階実習室 090-2402-9155 (谷森さん) 080-6023-2799 (福地さん)		■ふじみ野市 おあがんなんしよ 新春初盆・正月遊び・南京玉すだれ等 13:00~16:00 フクトピア 090-5345-8408 (松館さん)
20	21	22	23	24	25	26
■春日部市 春日部つながりカフェ 13:30~16:00 コーププラザ春日部 第1会議室 048-829-7400(SSN)		■さいたま市 さいがい・つながりカフェ 11:00~15:00 WithYou さいたま4F 和室 ★★		■上尾市 向原団地被災者の会 新年会 12:00~17:00 向原団地集会所 090-5847-7089 (富永さん) 詳細は1ページ		■所沢市 青空あおぞら 時間・場所調整中 048-829-7400(SSN)
27	28	29	30	31		
■鳩山町 鳩の集い 10:00~12:00 JAXA鳩山宿舎108号室 049-296-1241 (鳩山町健康福祉課) ★★		■越谷市 一歩会 協働フェスタに参加 浪江焼きそば 10:00-15:00 090-1773-9542 (関根さん)				